

想定される各地の震度・津波

現在の地震防災対策強化地域

- 震度6強もしくは7
- 6弱
- 5強以下
- 津波の高さ3~10m



東海地震予測

名古屋、震度6弱

調査会 公表 愛知東部で7も

力のある高齢者の負担や、新たな財源の確保などを含め、公平で安定的な制度の構築が必要と指摘している。現行の診療

定政権を樹立するためのアフガン国民の代表者会議が27日、ドイツのボン郊外で始まった。アフガン内政の空白を埋めるた

参加したアフガン4派が30日までに暫定行政機構（政府）の設置に合意することを条件に、12年にわたる復興支援策を提示、

ドイツ外務省筋によると、国連が示す復興支援策には、これまでにも、独、仏、英、スウェーデン、ベルギー、日本など

東海地震が起きた場合に予測される各地の震度と津波の高さが27日、中央防災会議の東海地震に関する専門調査会（座長、溝上恵・東大名誉教授）から公表された。想定震源域の22年ぶりの見直しに伴うもので、震度6弱以上のエリアが西に広がり、名古屋や愛知県東部が新たに入った。（26

・27面に関係記事）
予測によると、静岡県、山梨県南部、愛知県東部の一部は震度6強か7。震度6弱の地域も名古屋など西に広がった。

震度6弱は、人が立っていることが難しく、耐震性の低い住宅は倒壊することもある。警戒宣言発令時に鉄道などをストップし、住民が避難する地震防災対策強化地域の対象になる。

東京は沿岸部など一部が震度5強、大部分は5弱以下とされた。
津波の高さの詳しい予測は今回が初めて。伊豆半島や御前崎周辺、渥美半島、伊豆諸島の一部を、地震発生の数分から30分後に高さ5以上の津波が襲う。最大では10以上に達する。房総半島の先端部や志摩半島などでも、大津波警報の対象になる3以上の震度になる。中央防災会議では、これらを参考にして、来年3月にも新しい対策強化地域を公示する方針だ。現在は静岡県など6県167市町村が指定されている。